

第32回 子供の日大運動会

ふるさと特派員 前大 安男

さわやかな五月晴れの5月4日に第32回 子供の日大運動会が西表校記念グラウンドで行われた。

公民館役員方により準備された記念グラウンドには、最初に子供たち全員による鯉のぼりの掲揚が行われた。高々と掲揚された数十匹の鯉のぼりが爽やかな風に泳ぎ、子供の日に相応しく次世代の子供たちの成長を願わずにはいられない。

全員によるラジオ体操に始まり、競技は開始された。全員参加する「なかよしかけっこ」から競技がスタートした。参加者は3歳ぐらいから89歳までの選手が何組かに分かれて行われた。最高齢の前大用安さん（89歳）も100m走、200m走に出場し、会場からは大きな拍手がわいた。

また、競技は西表島らしく「タケノコの皮むき競争」「丸太切り競争」「縄ない競争」「俵運び競争」等といった生活の中から生まれた競技は、タケノコ採りシーズンの5月にはぴったりの競技であった。「タケノコの皮むき競争」では5人一組による全員参加の競技で、私もどうにか参加できた。優勝チームは60本の皮むきで、私たちは47本で参加賞に終わった。勿論、剥いたタケノコはブガリノージに調理され、若夏のタケノコを味わうことができた。



子供たちによる鯉のぼり掲揚。



まずは体をほぐして。



全員参加の大運動会。



タケノコの皮むき競争はこの季節ならではの。